

カメラ女子ダイバー

 In Cebu and Bohol



快晴のバリカサグ。
海と空の青、島に
沿って連なる雲が写
欲をかき立てる

巷では、カメラ、特にミラーレス一眼を持って街や海、山、そして海外に出かけるカメラ女子が増殖中。

そのムーブメントはダイバーの間でも広まっているようだ。

ということで、フィリピンのセブでも、そんなカメラ女子ダイバーに潜りに来てもらおうと、今回の企画を提案。

普段から写真大好きで、実際、陸でも水中でもカメラを持って旅に出かけることの多い、

モデルのエリちゃんに、セブの陸と海を、彼女の感性で撮影してもらった。

Photo & Text = Takaji Ochi Model, photo & Text = Eri Saito
Special Thanks = BLUE CORAL Design = Yoshiko Murata

今回、カメラ派女子のためのナビゲーションとして、モデルのエリちゃんにも陸でも、海中でも、ミラーレス一眼で実際に撮影してもらい、カメラ女子である、彼女なりのセブの楽しさをどんどん切り取ってもらうことに。

フィールドとして選んだのは、BLUE CORAL本店のあるマクタンエリア、そして、支店のあるボホールとボルホーン。そこから足を延ばせるバリカサグ、スミロン、そしてオスロブなどなど、ダイビングしながらの一人旅（実際には一人じゃないけど）を満喫しながら、思い出に残るフォトアルバムを作成してもらった。

カメラを持ってバンカーボートに乗り込み、ダイビングスタート



バンカーボートに乗り込んで、ダイビングスタート

01/ベタ風と真っ青な空。船首に座っているとこの素晴らしい景色を独り占めした気分。とっても気持ちがいい！

02/セブの海は透明度が高く泳いでいてすごい解放感！先までよく見えるから遠くの被写体もすぐに見つけられちゃう♪

03/マクロを撮るには絶好の被写体☆おめめくりくりで愛くるしい！！

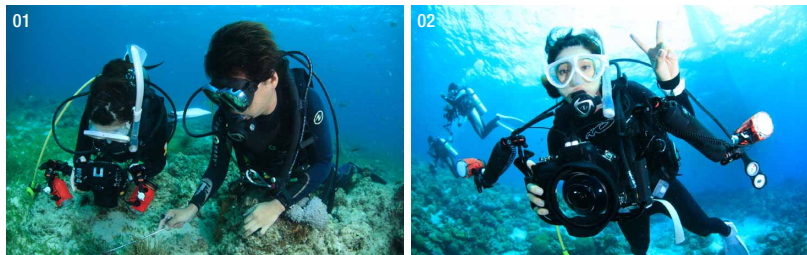
04/チョコレートヒルをバックに思いっきりジャンプ！！ここに来るとみんなジャンプして撮るみたいです（笑）



カメラ女子ダイバー In Cebu and Bohol



基本的な撮影方法
やカメラの事は、ボート上でガイドのヒロさんが教えてくれる



まずは、ハウスリーフと日帰りポイントで腕試し。



- 01/穏やかなポイントでマクロものんびり撮影できる
- 02/今回、水中でのフィッシュアイ撮影にも初チャレンジ
- 03/こんな素敵なサンゴの撮影ができました
- 04/でも、好きなのは、やっぱり可愛いマクロ生物の撮影
- 05/ツバメウオの群れみたいに、フィッシュアイでゆっくり撮影できる被写体もあります

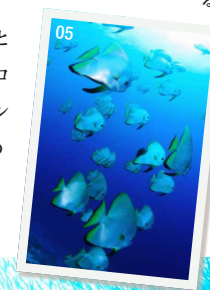
マクタン島のBLUE CORALのあるホワイトサンズリゾートに到着し、カメラを持ってまず向かったのがハウスリーフと、日帰りポイントのオランゴ島、ナルスアン島、そしてヒルトウガン島。

ミラーレス一眼をハウジングに入れて、まずは肩ならし。とは言っても、ハウスリーフには、イワシの大群が見れて、肩ならしの被写体としては、申し分無い。巨大なイワシの群れは、まるで空を覆い尽くす雲海のように、

水面下に広がっていて、変幻自在に姿を変えるので、何枚シャッターを切っても飽きない。エリちゃんも、モデルである事を忘れて、夢中でこの巨大なイワシ玉を撮影し続けていた。

ナルスアン島では、水中にある女神像と自分撮り、そして、元気なサンゴやニセクロホシズメダイの群れを撮影。ヒルトウガン島ではツバメウオの群れやロウニンアジの群れ狙い。とワイド撮影に適した、簡単に

狙える被写体が目白押し。オランゴ島では、レンズを変えてマクロ生物狙いのダイビング。個人的には、マクロでじっくりが好きなエリちゃん、気に入った小さな被写体を見つ



ると、じっと動かなくなると、撮影に集中。その集中振りは、プロカメラマンの僕以上でした。



ハウスリーフに群れるイワシの大群も、ワイド撮影の被写体にとってこい

カメラ女子ダイバー In Cebu and Bohol

突然姿を見せた、ハンドウイルカの群れ。べた凧だと、船上からでもこんなにはっきり撮影できる



時には、自分がモデルになって、べた凧の海と一緒に撮影



サングラスに映った、自分たちと、空と海。こんな撮影もたまにはいいんじゃない



今回は、バンカーボートに乗って、ミニサファリ。BLUE CORALの支店があるボホール、ボルホーンへも足を伸ばしました。移動日は、天気も良くて、海も穏やか。最高の撮影日和！

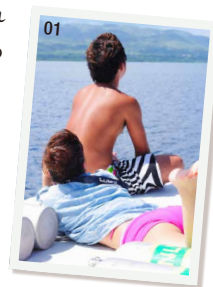
船上でも、被写体を見つけて積極的に撮影を行なうエリちゃん。ガイドのダイスケ君、ナナカちゃん、そしてヒロさんだけでなく、カメラマンの僕にまでカメラを向けて撮影しまくり。本当に写真撮るのが好きみたい。

「何か面白いアイデアは無いですか？」と訪ねられて、自分も今までにすることが無かった写真撮影方法を考えてみた。すでに何度も乗船しているバンカーボート。そこで、新たな撮影スタイルを見つけ出すのは、

ちょっと難しかったけど、ガイドのサングラスに注目。そこに写る海と空、それにエリちゃんやナナカちゃんを撮影してみた。

こんなアングルで撮影するには、皆の協力が必要になるので、事前に打ち合わせしていくのがいいかもしれない。

しかし、べた凧の海での、バンカーボートに乗船しての定番写真は、やはりストレートに撮影する、こんな写真。周囲を島々に囲まれたセブの海、それにフィリピン特有のバンカーボートだからこそ高確率で狙える1カットだ。



ミニサファリでボホール、バリカサグへ。
船上での撮影も楽しめる。



01/ガイドのダイスケ君の背中と風景を激写

02/一眼ミラーレスカメラが旅の友。なんか良い感じ

03/べた凧の海が、またまた写欲をそそる

04/バンカーボートでのんびりと船旅を楽しみながら被写体を探す

カメラ女子ダイバー In Cebu and Bohol



01/小さくて、ほとんど寝てるターシャ、さてどう撮影しようかな
02/巨大ヘビを間近で見ると聞いて、ワクワク
03/エリちゃん、まったく気にせず巨大パイソンと記念撮影

04/ターシャのデザインのTシャツ
05/目覚めたターシャをタイミング良く撮影できました
06/パイソンに襲われる感じで、記念撮影



チョコレートヒルは、ボホール島で一番の観光地。一体どうやってできたんだろう？



ボホールでは、観光地を巡る陸上撮影を満喫。

ボホールでは、ホテルに1泊して、観光地を巡った。大蛇、パイソンを抱っこできるというXzootic Animal Park、世界最小のメガネザル、ターシャが見れるロボックのターシャコンサベーションエリア。そして、不思議な地形のチョコレートヒル。

エリちゃんが一番目を輝かせたのが、大蛇を抱っこできるXzootic Animal Park。ここでは、撮影よりも、自分がパイソンと一緒に撮影してもらう事に夢中になっていたエリちゃん。さすが、普段からワイルダーなエリちゃん、まったく臆する事もなく、真っ先に、大蛇パイソンに寄り添い、満面の笑みで記念撮影。「最高っす！」ってかなり男勝り振りを発揮。ガイドのナナカちゃんとは大学の先輩、後輩ということがわかり、そんな男っぷりの良いエリちゃんに共感。「私、エリちゃんに、着いて行きます！」と普段はパイソン触らないナナカちゃんなんだけど、このときは、エリちゃんのモデル役として、頑張ってパイソンを

抱っこしていました。

ターシャは、小さくてなかなか上手に撮影できる位置にいてくれる子がいなかったのと、暗い場所にいる割には、ストロボ撮影禁止なので、撮影には悪戦苦闘していたけど、「かわいいうっすね〜」ってまた男っぽい感想を述べるエリちゃん。

モデルでポーズ取るだけでなく、自分で撮影もできて楽しいからか、かなり地を出し始めたエリちゃん。まあ、そういうキャラの方が自分も仕事しやすい。

チョコレートヒルでは、何故かホウキに乗って、ジャンプしてトリック写真を撮る記念撮影が流行っている。ホウキは使わなかったけど、意気投合したエリちゃんとナナカちゃん

でトリック写真を撮影して楽しんでた。



カメラ女子ダイバー In Cebu and Bohol

翌日にはバリカサグでダイビング。これが、青空が広がり、最高の陸撮日和になって、船上撮影でもテンションが上がる。ここでの海中での定番の被写体は、ギンガメアジの群れと、リーフトップのサンゴの根に群れるハナダイやスズメダイの群れ、イソギンチャクにいるクマノミたち、それに、個体数の多いアオウミガメ。しかも、それをそれぞれ単体で狙うのではなくて、ギンガメアジの群れと、アオウミガメ、ギンガメアジの群れと、ハナダイの群れなどを一緒にコラボさせた、一歩上に行く水中写真狙い。

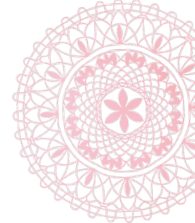
このギンガメアジ、リーフトップで海底にくっつきそうなくらいの位置で群れて、トルネードを作りゆっくり移動してることが多いので、そういうコラボが狙い易い。それは、潮

の流れや、そのときの群れの状態にもよるけど、本当にゆっくりしているときには、泳力の無いカメラ女子ダイバーでも十分に狙えるスピードのときも多い。あるいは、移動してくる群れがどこを通過するかを事前に予測して、コラボさせたい被写体の前でギンガメの群れがやって来るのを待つ作戦も有り。

ちょっとハイレベルなワイド撮影にチャレンジしてみよう。さてさて、夢中になって撮影していたエリちゃん、しっかり撮影できたでしょうか？



- 01/この青さ!何も言われなくても写真撮りたくなりますよね
- 02/当然のように記念撮影
- 03/デバスズメダイの乱舞
- 04/カメラを持ってギンガメアジを激写

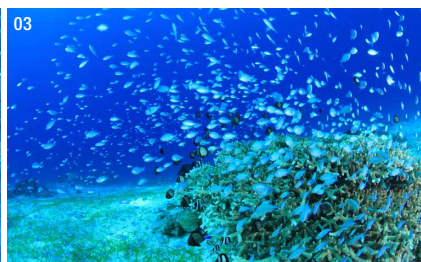


ウミガメの個体数も多いから、一緒に記念撮影もできちゃう

最高のコンディションのバリカサグ。



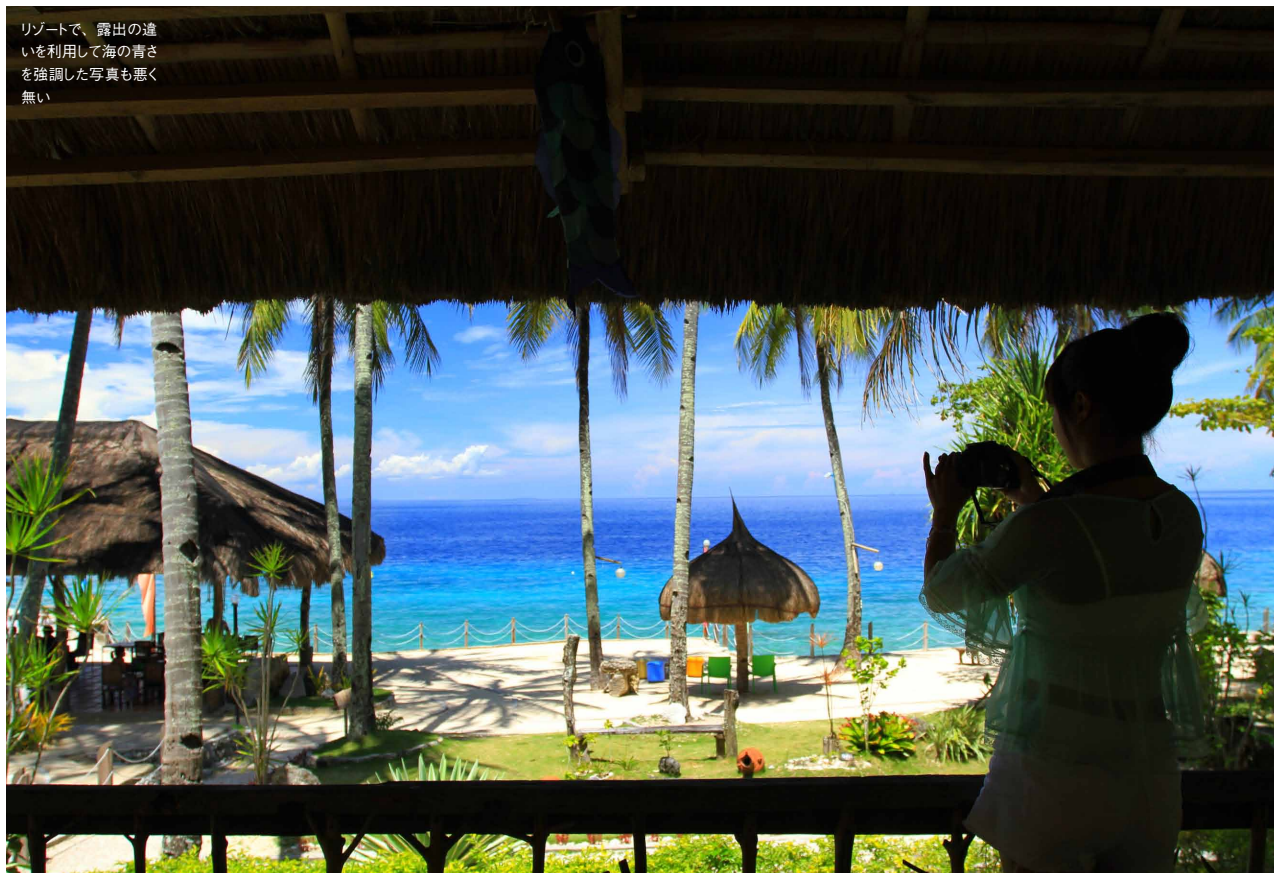
バリカサグのギンガメアジは、リーフトップで群れているから、撮影も簡単。他の魚たちとのコラボもオッケー



リーフトップのサンゴの根には、ハナダイなどが乱舞してる。こちらも簡単に撮影可能

カメラ女子ダイバー In Cebu and Bohol

リゾートで、露出の違いを利用して海の青さを強調した写真も悪く無い



01/ オーシャンビュー
ルームのテラスで、海
を撮影

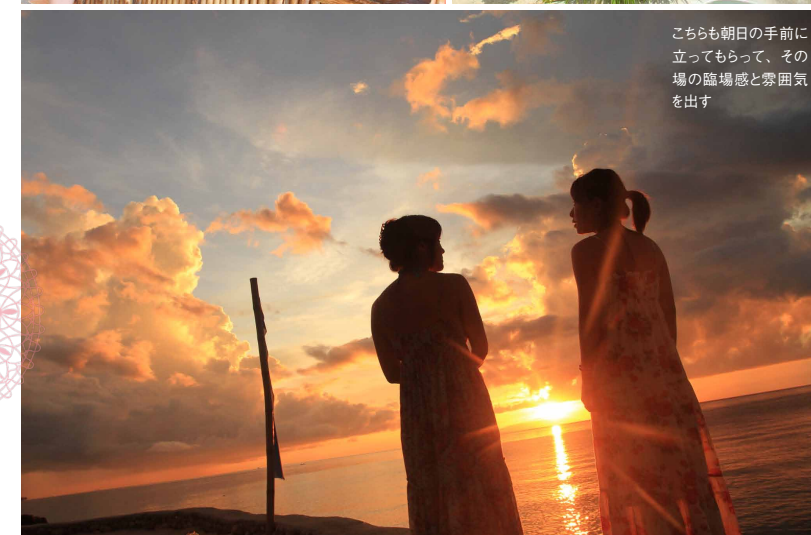
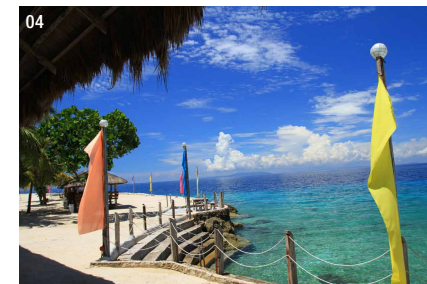
03/ 海の前にあるの
が、BLUE CORALのオ
フィス

05/ ビーチの目の前に
ある、オープンテラス
レストラン&バー

02/ リゾート内にあるオ
ブジェも被写体に

04/ ハウススリーフはリ
ゾート目の前

06/ プールはこじんまり
としているけど、晴れた
日には、被写体にも
向いてる



こちら朝日の手前に
立ってもらって、その
場の臨場感と雰囲気
を出す

リゾート自体が、被写体になる、
ボルホーン

次にステイしたのは、BLUE CORALの南
セブ支店、ボルホーン。自然に囲まれた小
さなリゾートには、意外と撮影に適した被写
体が揃っているの、リゾート内を散策して、
色々と狙ってみて欲しい。



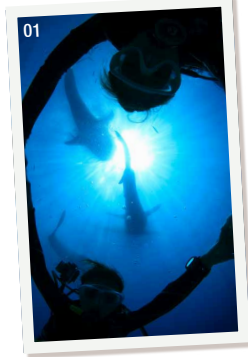
カメラ女子ダイバー In Cebu and Bohol

そして、撮影の最終目的は、やはり今話題のオスロブのジンベエザメ！このポイント、自分自身、すでに20回近く来てるのだけど、ジンベエザメを外した事が無い。地元漁師さんたちが野生のジンベエへの餌付けに成功した、面白い環境。生態系を崩すと言われることもあるけど、乱獲されて、食べられちゃうよりは、いいのではないかと思うこともある。おかげでオスロブの村自体もジンベエ景気で潤っていて、訪れる度に、次から次へとおみやげ屋さんやリゾートが新たに出来上がっていて、驚かされる。最初来た時は、本当に何も無い寒村って感じだったのに。

まあ、とにかく、今ではセブに来て、なかなか外すことのできないポイントになったオスロブ。カメラ女子ダイバーが狙う大物の被写体としては、撮影しやすく、申し分無い。

手の平で♡作って、その中にジンベエ入れてみたり、二人で輪を作って（本当は二人で♡作ろうとしてた）、その中にジンベエ入れてみたり……、結局撮影してるの俺なんだけど、というのは置いておいて、まあ、楽しんでいるんだからいいか。

陸上だけでなく、水中でも、これだけ撮影し易い被写体の揃うセブの海、一度は、水中カメラを持って訪れてみてはいかがでしょうか？BLUE CORALは、きっとそんな貴女のサポートをしてくれます。



最終目的は、オスロブのジンベエダイブ！！



01/ せっかくだから、ジンベエザメとちょっと変った記念撮影

02/ 沖にあるスミロン島のサンゴは美しい

03/ 船の目の前まで、ジンベエザメを誘導してきてくれる

04/ ジンベエザメのおみやげも多い

05/ 大物ジンベエの後には、スミロン島で小さな魚たちに癒される

06/ 止まっているジンベエザメだから、ゆっくり撮影が可能

07/ 手で作ったハートの中にジンベエを入れて撮影



最近、ジンベエザメの数も増え、かつ成長して、大きくなっているとか

カメラ女子ダイバー In Cebu and Bohol

E R I ' S V O I C E

今回女子カメラで初めてGH3を使った感想は簡単、綺麗、楽しい!! ということ。カメラが一つあるだけで、旅はより一層楽しいものになりました。

被写体を常に探して周りの物を注意深く見たり、カメラを持っているだけで微笑んでくれる子供達がいったりとカメラは自分

の知らない世界、自分がカメラを持っていなければ出会えないような世界に私を連れていてくれるような気がしました。

水中ではジンベイザメやイワシの群れ、ギンガメアジの群れなどをワイドレンズでとったり、小さなウミウシやカニなどもマクロでも撮りましたが、あまりにも綺麗

にGH3が撮ってくれるので、一枚一枚、シャッターをきる度に作品を作っているような気がして楽しかったです。

沢山シャッターをきった中で、はっとさせられるような一枚に出会った時の瞬間はなんだか恋をしたような感覚と同じでピピッと心に電気が走ったような気持ちにな

ります。この感覚は体験したらやみつきになります。

ついつい写真を撮るのに夢中になりすぎて、周りが見えなくなるくらい没頭してしまいました(笑)カメラがあれば何時

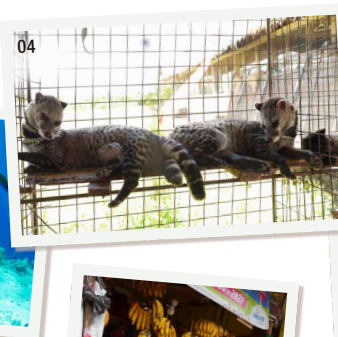


間潜っていても飽きない!! 心の底から本当に楽しかったです。久しぶりに時間が経つのを忘れる位、何かに没頭している自分に出会えました。素敵な旅の思い出ができました。

カメラ一つあるだけで、心踊る旅ができますよ!



イワシの群れ→おびただしい数のイワシの大群。キラキラと流れるように泳ぐ大群はまるで天の川のような。その群れの迫力は圧巻の一言に尽きる。



01/ 魚以外にもよく見るとカラフルな生き物が沢山いるよー!

02/ サンゴに群がるデバスズメダイの群れ。真っ白なサンゴに宝石をちりばめたような美しさです

03/ ブルコーラルのオーナーのヒロさん♪横バブルリングがとってもお上手です!

04/ ボホール島のXzootic Animal Parkに行った時の一枚。偶然にも線対称に寝るフェレット! この他にも鳥や蛇など様々な珍しい動物がいたよ。

05/ 町の青果屋さん。大量のマンゴーが売っていて遠くからでもその匂いにひきつけられてしまうほど。ダイビングした後に食べるマンゴーは最高!

06/ ギター工場を見学。カラフルなギターから大小様々なギターが売っていて飾り方もお洒落☆

07/ ボホール島で有名なものといえばターシャ! 本物のターシャを見れて大興奮のななちゃんといっしょ♪

08/ チョコレートヒルをひとつまみ♪こんな撮り方も遊び心があって面白い!

09/ エサをくれるボートにまるで飼いられた犬のようについていくジンベイザメ。大きな口をバクバクさせて食べている姿は何とも言えないかわいらしさがある♪



BLUE CORAL

今回、カメラ女子ダイバーの受け入れを宣言した、BLUE CORAL。オーナーのヒロさんは、ここ数年、カメラやビデオ撮影にハマっている様子。それも、一眼レフだけでなく、コンデジ、ミラーレスと幅広く使用しているの、「いつの間にかカメラの知識が身に付いてしまった」そうで、ちょっとした疑問点や操作方法などは、教えてくれそう。遠慮せずにどんどん質問してみてください。

カメラ女子ダイバー In Cebu and Bohol